

知事記者会見の概要

日 時：令和3年3月25日(木) 14:53～15:14

場 所：502会議室

出席者：知事、広報広聴推進課長

出席記者：16名、テレビカメラ6台

1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、知事から1件の発表があった。

その後、フリー質問があり、知事が答えて閉会した。

2 質疑応答の項目

発表事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症への対応について

フリー質問

- (1) 発表事項に関連して

<幹事社：読売・日経・YTS>

☆報告事項

知事

県民の皆様にお知らせをいたします。本日、県内で、これまで最多となる49人の新規感染者が確認されました。本当に驚愕する数字であります。県内で新規感染者が2桁台となるのは、先週の18日から8日連続となりました。大変な状況であります。山形市が21人、上山市で9人、寒河江市6人、酒田市が5人というふうに、県内全域に拡大をしているところであります。感染の急激な増加に歯止めがかからない状況であります。大変大きな危機感を持っているところです。

医療現場について申し上げますと、現在本県の医療機関における新型コロナ専用病床の占有率ですが、県全体では31.5%となっております。これは政府のステージⅢの指標20%以上というのを大きく上回っております。特に、村山地域の医療機関では9割を超えて、94.3%になっている、そういう医療機関もございます。医療提供体制は危機的な状況に陥っております。宿泊療養や自宅療養を活用しながら何とか対応しておりますけれども、このままの状況が続けば、一般の医療にも大きな影響を及ぼしかねません。

県民の皆様には、医療ひっ迫どころか、医療崩壊が現実のものとならないよう、感染防止対策に最大限の御協力をお願いいたします。

そして、注意・警戒レベルですけれども、それは、昨日と同じであります。山形市がレベル5の【非常事態】、村山地域がレベル4の【特別警戒】、そして、村山地域以外はレベル3の【警戒】としております。

特に、山形市につきましては、県と山形市の「緊急事態宣言」を発出しておりますので、4月11日までの間、山形市全域で不要不急の外出や移動を自粛していただきますようお願いいたします。山形市以外の方につきましては、山形市との往来は可能な限り控えていただきますようお願いいたします。

また、宮城県でも、昨日ですね、過去最多となる171人の新規感染者が確認されたところあります。県民の皆様には、4月11日まで、宮城県との往来は可能な限り控えてください。

首都圏の1都3県については、緊急事態宣言は解除されましたけれども、これらの地域との往来は、当面の間、慎重にしてください。

最近の感染事例では、接待を伴う飲食店でのクラスターのほか、その他の飲食店が関係する事例もあると聞いております。

こうした場面では、感染リスクが高くなりますので、お一人おひとりが感染のリスクを避けるための行動をお願いいたします。特に、飲酒を伴うカラオケは絶対に控えてください。

県民の皆様には、感染リスクが常に身の回りにあるという強い意識を持っていただき、「新しい生活様式」をしっかりと徹底していただきますようお願いいたします。これがやはり基本であります。特に、マスクはしっかりと着用していただくようお願いいたします。また、発熱などの症状がある場合は、仕事や外出は控えていただき、早めにかかりつけの

医療機関に御相談いただきたいと思います。

山形市内の介護事業所でクラスターが発生しておりますので、高齢者や持病のある方及びそのご家族、また、介護施設など普段高齢者と接する機会が多い方は、会食をできる限り控えてください。

今、本当に大変な局面だというふうに思っています。お一人おひとりが強い意識、感染しない・させない、そういった意識をしっかりと持っていただいて、県民みんなでこの難局を乗り越えていきたいというふうに思っておりますので、どうぞよろしく願い申し上げます。

☆フリー質問

記者

共同通信、阪口です。お世話になります。知事冒頭でお話になりましたけれども、今日49人という、過去最大を大幅に上回って更新しましたけれども、あらためてこの数字をどのように受け止められたのか伺えますでしょうか。

知事

はい。31という時にも大変に驚きましたけれども、この49という数字を聞きました時は、驚愕しました。本当にちょっと驚愕したところであります。山形県内でこんなに多く出たのかという、そういう本当にもものすごい驚きと言いますか、「驚愕」という言葉でちょっと表現させていただきたいと思います。本当に大変な状況だということをやはり県民の皆さん、事業者の皆さんと共有してですね、何としてもこの危機を乗り切っていくてはいけないというふうに思います。医療現場の病床ひっ迫、ひっ迫どころか、もう崩壊になりかねないという事態でありますので、本当にお一人おひとりの自覚、それをしっかり持って一緒にやって、このコロナの収束に向けてがんばっていきたいものだなというふうに強く思っているところです。

記者

ありがとうございます。併せてなのですけれども、今日の発表の中で感染者の動向を見ていると、山形市の21人で一番多いと思うのですが、寒河江市であったりですね、上山市の感染者の方、感染確認がたくさん多くて、かつ、感染経路不明という人もかなり多かったと思います。そちらのほうの例えば緊急事態宣言、県独自の緊急事態宣言をですね、拡大させるような考えというのは今ありますでしょうか。

知事

そうですね、今すぐということは考えておりませんが、やはり、一日一日しっか

りこの動向を見ながらですね、決定していきたいというふうに思います。まずは、その濃厚接触者を特定して感染経路わからない方であっても、感染した方ですね、濃厚接触者をできるだけ特定して、そしてしっかりそれを何と言いますか、閉じ込めていくと言いますか、克服していく、そのことが大事だというふうに、目の前のことをしっかりやりたいというふうに思います。

記者

併せて、今日、国会でも分科会の尾美会長がおっしゃっていましたが、宮城県のほうには、まん延防止等重点措置を含めた強い措置が必要だというような認識を示されてきました。宮城県と仙台とかなり近い山形でかつ過去最大これだけ上回った状態で、今までの知事の会見の中でもですね、今後準備を進めていくというような、具体的には検討は入っていないけど、準備を進めていくとおっしゃっていましたが、この状況を受けてですね、何かさらに強い措置、国に対する要請などですね、何か検討されている点はありますでしょうか。

知事

はい。検討まではしていませんけれども、やはりいつでもそういったことを視野に置いてですね、考えていくということは必要だと思っています。宮城県・仙台市でもまだ、そのまん延防止等重点措置というのをやっておりませんので、やはりそのことについては、いろんなことを総合的に考えながらですね、しっかりやっていきたいというふうに思っています。

記者

ありがとうございます。

記者

日本経済新聞の浅山です。今の関連で知事がいろいろ検討していかれるというのは、現段階で独自の緊急事態宣言を出していて、お願いベースでやっちらっしゃいますけれども、まずはこれで様子を見ると、いわゆる法律に基づくいろんな私権の制限であるとかですね、過料とか、そういうものはまだ今の段階では様子を見たいといったお考えなのでしょうか。

知事

そうですね。

記者

使いにくいとか、そういうことがあるのか。

知事

そうですね、今の時点ではそうです。本当に割と早いペースで独自の緊急事態宣言を发出し、また、時短も土曜日からでありますけれども要請と言いますか、していますので、土曜日からその時短が実施されます。そこでしっかりと抑え込んでいけるのかということをしかりと見極めたいというふうに思っています。

記者

今の段階では、急に増えた原因というのは、どういうふうに見ていらっしゃるのでしょうか。

知事

この49名の方々についてはですね、全員の状況が分かっているわけではなくて、調査中も多々ありますので、その原因をしかりと分析するということが大事だと思っています。やはり今から調査して分析する、そのことが大事だと思っています。

記者

すいません、山形放送の深瀬と申します。先ほど病床の占有率のお話があったのですが、村山地域全体としての病床数の占有率というのはどのくらいの状況でしょうか。

知事

村山全体ですか。県全体はまあ31.5%で、村山市だけのというのは。村山の占有率はちょっと私の手元にないので、後ほど担当のほうからお知らせします。

記者

分かりました、ありがとうございます。その細かいデータが分からない状況でも、やっぱり村山地域がひっ迫しているという状況だと思うのですが、そういう部分、ひっ迫の状況を懸念しての受止めというのを教えていただけますか。

知事

はい。そうですね、今、宿泊療養者が34人、そして自宅療養者が21人となっていてございますけれども、調整中というのが62人おまして、ほぼ村山地域なわけでありますので、病床ひっ迫ももちろんでありますけれども、宿泊療養もですね、ちょっとひっ迫してくる可能性があるなあと考えてですね、やはり早急に3軒目の施設を確保しなければいけないというふうに今思っているところであります。

記者

分かりました。ありがとうございます。

記者

NHKの藤井です。宿泊と自宅療養でしのぐとおっしゃっていましたが、でまあ3軒目を確保しなきゃいけないと。ただ3軒目の確保ってそんな簡単にいくのかなというのがあるって、今準備進めているのですよね。それって結構見通しとしては、すぐにとというわけにいかないのではないですか。

知事

そうですね、もちろんこれまでですね、ある団体を通して依頼ということをしてきましたけれども、まだ確たるところは見えていないということで、まあちょっと今照会しているところもあります。やはり何とかして確保しないといけないということでもありますので、なるべく早くあたりを付けたいというふうに思っております。

記者

調整中の62人の受止め、再度伺いたいのですけれども、宿泊療養施設ももう30人以上いらっしゃるので、まあこの62人は吸収できないですよ。そうすると自宅療養がどんどん増えていくという見通しだと思っておりますけれども、それについての見解を伺いたしたいと思います。

知事

はい。宿泊もですね、退所という方も出てくるというふうに聞いています。ですがこの調整中の数が数でありますので、自宅療養も、最初から自宅療養の方でありましたり、また、宿泊あるいは入院という形でいらっしゃる方でも、まあ10日間近くなってあと数日で大丈夫というような方でももしかしたら自宅療養というようなことに移行していただくかもしれないというようなことを聞いたところであります。その詳しいところはまた担当のほうからお知らせということになるかと思っておりますけれども、聞いていただきたいと思っておりますけれども、私はそういうことを今日聞きまして、何とかしてとにかく皆さんにしっかりと療養していただくということが大事だなというふうに思っています。

記者

あと時短も土曜からで、宣言を出した後もまあ2桁感染がずっと続いていてむしろ増えている状況で、対策というのが追い付いていないのではないかと思うのですけれども、その辺どうですか、受止めは。驚愕とおっしゃいましたけれども、対策がなかなか効いていないということはあるですか。

知事

そうですね。やはり、今対策をして今ということではなくて、やはり、数日前、1週間前

のことが起きてきているという、感染がですね、起きてきている、潜伏期間というものもありますので、そういったこともあるかなと思います。これから減少に転じていけるようにですね、今しっかりと、県民の皆さんお一人おひとりに、行動の自粛と言いますか意識を持って行動してくださるようお願いをしたいというふうに思っております。

記者

あと1点で、特に飲酒を伴うカラオケは絶対に控えてと今日強くおっしゃいましたが、そういった具体例があったのでしょうか。

知事

そうですね、リスクが高いということであります。まあ担当のほうに聞いていただきたいと思いますが、カラオケでこの数字になったというわけではないと思っておりますけれども、でも飲酒を伴うカラオケだと間違いなくそのリスクが高いということがありますので、これはもう絶対に控えていただきたいということを今日は強く申し上げました。そういうことでもあります。

記者

産経新聞の柏崎と申します。お隣の宮城県でも171人でしたでしょうか、まあすごい数の感染者が出ているんですけれども、その背景にはね、前に時間短縮をやめてしまっていて。

知事

何をやめてしまっ。

記者

時間短縮をやめてしまっていた時があったんですね。

知事

時間短縮、はい。

記者

時間短縮ですね。それが影響してまあ2週間後か何かば一っと増えてきてしまったのがあるようなのですけれども。それで宮城県の知事はですね、政策的にちょっと批判をされているわけなのですけれども、宮城県の場合は政策として、泊まってキャンペーンとかいろいろやっていらっしゃいますけれども、そういうことの影響というのは考えられていないのでしょうか。あるいはこれは、少しちょっと止めたりとかいうお考えはなっていないですか。

知事

宮城県の影響ですか。

記者

宮城県は増えてきているわけですね、実際。山形県の場合は、山形県を見た時に、まあ非常事態宣言を出されましたけれども、山形市との移動はまあちょっと行かないでくださいとやっていますけれども、まあ県内全体はそれは関係ないと知事はおっしゃっていましたけど。で、しかし、酒田とか、こういろいろ。出てきているのを見ますとね、やはりまあ泊まってキャンペーンがいけないか分かりませんが、そういうまあ移動と言うのかな、そういうのをなるべく避けるような、控えるようなね、こともちょっとお考えになったほうがいいのではないかと思いますのでその辺はどうでしょうか。

知事

そうですね、今特に、感染の割合が高いのが、人口10万人あたりの直近1週間当たりの新規感染者数、10万人あたりの率で言いますと、山形市が41.6になります。今日ですね。で村山地域が29.61、最上地域が2.74、置賜地域が3.92、庄内地域が2.63。で、山形県全域ですと16.33となります。やはり山形市が41.6という、非常に突出して率が高いわけですね。まあそれから村山地域が29.61、これもやはり山形市に引っ張られているということがあります。ですから最上、置賜、庄内はまだ、2点いくらか3点いくらかというところですので、今の状況ですとはるかに差があるというふうな認識を持っておりますが、今記者さんがおっしゃったようにやはり県内で移動がありますから、そこはですね、これからしっかりと様子を見極めながら申し上げていきたいと思っております。今回、この度は山形市との往来はできる限り控えてくださいということを、県民の皆様をお願いしたところであります。

記者

ほかの地域も考えていくということでしょうか。

知事

これから、はい、状況を見ながら考えていきたいというふうに思います。

記者

分かりました。